

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第998回

2012年4月24日(火) 晴 第39回

～雑誌月間～

斉唱 我等の生業
 出席 会員63名(出席率算入人数56名)
 出席47名 出席率83.93%
 前々回補填率96.49%(4月10日分)

会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆さま、こんばんは。今日は暑いと言っているほどの天候でございます。また、黄砂で視界が良くない天候で、いよいよ春は通り越して、夏を迎えるという季節になってまいりました。



今日は、我々クラブから地区に出向していただいております、小山さん、加藤さん、川村さん、3人の方にこの一年を振り返り、また、地区でどのような委員会活動をされているのかをご報告いただきます。皆さまには、今後とも地区にも我々クラブにもご協力をお願いしまして、会長挨拶に代えさせていただきます。

幹事報告

幹事 入谷 直行さん

- 5月1日は休会でございます。事務局が4月28日(土)から5月6日(日)までお休みをいただく事になっております。その間に、何かございましたら私の携帯までご連絡をお願い致します。私の携帯番号は090-3150-7825でございます。
- 5月の理事会がゴールデンウィーク明けですぐの8日でございますので、理事の方はお忘れにならない様お願い致します。

ニコボックス

- ◆今日の地区出向者による卓話、皆さんよろしくお願ひ致します。 小山 慎介さん
- ◆本日は「地区出向者(小山さん、加藤さん、川村さん)による会員卓話」です。楽しみにしています。

白銀 義昭さん 宮崎 良一さん 中村 勝さん
 川村 繁生さん 安藤 修さん 久米 伸治さん

東山 直史さん 黒田 康正さん 森田敏二三さん
 吉木 邦男さん 川辺 清次さん 杉本 勇さん
 白藤 憲雄さん 田中 省三さん 川瀬 悟さん
 山本 誠一さん 野々村憲吾さん 林 隆二さん
 細井 俊男さん 三浦 和人さん 田中 一雄さん
 犬飼りさ枝さん 坂田 信子さん 鈴井 一博さん
 小野 雅之さん 長尾 浅吉さん 坂本 晃さん
 大平 明子さん 江上 隆夫さん 本多 利郎さん
 伊藤 博昭さん 小山 慎介さん

本日合計 32,000円 累計 1,267,000円

アンチエイジングエクササイズ

■環境保全・保健問題委員会 委員長 中村 勝さん

地区出向者による会員卓話

■米山奨学委員会 委員 加藤 宜之さん

皆さま、こんばんは。今年で地区へ出向して丸2年ですが、この地区の行事などをお話し致します。米山は学校にあわせて普通4月から始まります。9月にクラブ米山奨学委員会の委員長会議、そして幹事、奨学生、学友の指導教員を集めた会合を行いました。10月には米山奨学生と学友の合同研修会で奈良に行っていました。こちらは非常に参加者が多く、92名の参加がありました。また、同月には各クラブのカウンセラーの方を集めまして、奨学生のいろいろな問題について検討し本部に報告するカウンセラー研修会を行いました。こちらも多くの方にお集まりいただき、62名の参加がありました。11月20日に奨学生の方に壇上に上がっていただく地区大会、他に11月には第1回の奨学生選考会も開催しています。12月24日には米山奨学生、学友、会長、幹事、委員長とカウンセラー、元カウンセラーも集まって研修会兼忘年会をキャッスルプラザで開催しました。1月12日は米山奨学生の2次選考会、21日には最終3次選考会を行っています。これは面接試験でありまして、朝から夜まで1日をかけて選考を行っています。その結果今年は27名を決定し報告する事ができました。3月にはカウンセラー、教育指導員の学校の教授の方も集め、米山奨学生期間修了者の歓送会を行いました。4月15日には地区協議会を行い、5月10日には12年度の新しいカウンセラーを集めての研



修会を行います。この時、奨学生のオリエンテーションと同時に最初の奨学金をお渡しする事になっております。6月には米山奨学生と学友会の合同研修会が予定されており、これが1年間の行事となります。行事前に2回ほどは打合せを行いますので、昨年度は委員会を含め31回の打合せがありました。

ここで皆さま方をお願いしたいのは寄付の事です。愛知県は平均額が1万1千円で全国で17番目ですが、これをできれば2万円に行きたいと考え、昨年より地区の委員、奨学生、学友の方達と各クラブへ卓話に出掛けております。今年も8月から10月にかけて奨学生を出していないクラブを中心に、昨年同様の30クラブ前後をまわる予定です。クラブへの出席もサボりがちで、今年もご迷惑をおかけするかと思います。よろしくお願ひしたいという事で、ご報告とさせていただきます。ありがとうございます。

■年次寄付委員会 委員 川村 繁生さん

皆さま、こんばんは。地区に資金推進委員会というものがありまして、その中に恒久基金大口寄付委員会と年次寄付委員会がございます。そちらの年次寄付委員会で委員をさせていただいております。月に1・2回委員の招集がありまして、1年経って少しは寄付の状況が理解できたかと思っています。こういった部分はロータリー財団の寄付の裏側と言いますか、なかなか理解されにくいと思いますが、今日はお話したい事が2点あります。当クラブでは地区補助金の申請をしますが、年次寄付の額によりいただける額が決まっております。平均127から140ドル前後を皆さまから寄付として頂戴しています。来年度の加藤委員長が申請された事業は、80万くらいで予算を組まれました。この場合地区で40万、年次寄付の地区で40万、の負担となりますが、3年前の当クラブの年次寄付金が1人当たり平均97ドルだった為、通常1.2の掛率が0.8しか掛けていただけない状況になりました。40万の申請に対し、約16万ちょっとになりそうです。つまり皆さまから寄付金をたくさんいただくと、掛率が0.4上がりそれでこういった申請が確実になるという事があります。これは3年後に、基本的に寄付したお金の75%くらいは地区に戻ってくる理屈になります。1年に1度、1人1万円のご寄付をいただき、3年後に補助金として戻る様、ぜひご協力いただきたいというお願いが1点です。次に来年度田中作次さんが国際ロータリーの会長になられますが、ロータリーカードを持って下さいと我々財団にも依頼があります。このカードはゴールドでなければ年会費はかかりませんが、皆さまがこのカードをお使いいただくと、金額の0.3%、1万円でしたら300円が東北支援にまわる仕組みです。普段から東北支援に協力できるという事でもありますので、ご賛同いただける方は事務局の方に申込用紙がありますのでよろしくお願ひ致します。以上2点お願ひをさせていただきます。ありがとうございます。



■会員増強委員会 委員長 小山 慎介さん

皆さまこんばんは。我々RCはいつも奉仕の理想もとでいろいろな事業をやっております。この中でも私たちがこれほど自慢できるのが、先ほどのロータリー財団が行うポリオプラスです。これはポリオ・小児マヒにプラス、はしか・ジフテリア・百日咳・結核・破傷風の五つを加え、これら病気を世界から絶滅させようという運動です。1986年RIで決議され、そのために必要な費用1億2千万ドルを世界の我々ロータリアンに寄付を募ったところ、3年間の予定に対し約2年で倍近い、すばらしい資金が集まりました。3ヶ国を残しほとんどの国ではこれらの病気は絶滅に至りました。我々は子どもの頃、百日咳や破傷風とずいぶんワクチンを打ちましたが、もう日本ではそんな事はありません。先ほども年次寄付のお話でしたが、こういった素晴らしい事業が我々の寄付でなされているといった事をまず一つご紹介させていただきます。では日本には何があるだろうと言った時、皆さまもご存じのように、先ほど加藤さんからのお話がありました米山奨学金があります。1920年に日本で初めて東京ロータリーが米山梅吉公により設立されました。この米山さんの功績を残す為に米山基金という奨学金がつくられ、戦後、東南アジアの皆さんにお返しできる事と全国のロータリーの正式な奨学資金として米山記念奨学会が設立され、以来永く運営されてきました。私は8年くらい前に米山の地区委員長をやっていましたが、その少し前にRI国際ロータリーで米山奨学会が正式に承認されました。今日では日本のロータリーの記念すべき事業として、120ヶ国1万7千人の学生達がこの奨学金の恩恵にあずかっています。戦後日本の発展の影にアメリカのフルブライトといった奨学資金がありました。それを受けられた方がその後、日本の素晴らしい頭脳となったのです。今、米山奨学資金を受けられた方も日本と母国の架け橋となって大きく貢献しておられます。日本は韓国や中国との間にいろいろと問題も抱えていますが、私は以前そちらからの留学生の方に卒業式でお会いして、「私たちは日本の事を悪く言わない。母国では必ずそういった方達にお話しをします」と素晴らしい言葉を聞かせてもらいました。しかし現在、以前は1000人いた奨学生が800人、700人になるであろうという状況になっています。これを回復してゆくには、まず皆さまの貴重なご寄付を募ると同時に、メンバーの増員が必須です。13年前は13万人いた日本のロータリアンが、今は8万9千人。そして2760地区にあっては13年前の6400人が、今年度は4809人でのスタートになっています。この事態に対して、会長、幹事、クラブ奉仕委員長の皆さまには、一つになって取り組んでいただいておりますが、会員増強・退会防止が、いかに事業を推進する大きな歯車となっているのかを、ここで改めてご紹介して今日の卓話とさせていただきます。どうもありがとうございました。



第 1000 回例会 (5月15日) のご案内

18:30 ~ 於: アイリスII
1000 回記念例会